

低気圧と前線による大雨に伴う災害に係る 第4回災害対策本部員会議での知事の主な発言

1. 会議冒頭の発言

- 先ほど、消防防災ヘリで、輪島市、珠洲市、能登町の上空から被災状況を確認するとともに、輪島市では地上に降りて、浸水した仮設住宅を訪問した。
- 具体的に上空から見た奥能登のエリアは、残念ながら、崖崩れが多発しており、国道249号線をはじめ、多くの道路が崩落した土砂によって埋まっている。孤立集落が発生し、いまだに助けを求める方がいると見て、ほぼ間違いないと認識した。
- 道路が大変な状況となっていることから、通信の不感地帯が増えていると想定される。あらゆる手立てを使って、県民の安否確認を行うことが必要である。
- 門前から輪島、輪島から町野、町野から珠洲、そして珠洲から能登町にかけての奥能登の沿岸部が、大変厳しい状況になっていることを目視で確認した。
- 輪島市では、駐屯地に降り、床上浸水した仮設住宅を視察した。地震で家屋が倒壊して、仮設住宅に入ったところで、家の中に土砂が入り、途方に暮れている被災者の方のお話をお聞きし、胸が痛む思いである。
- 避難所の開設、そして安定した生活環境の提供ができるよう最善を尽くしてもらいたい。
- 今後、仮設住宅をどこにどのように準備をするのか、内

閣府防災、専門家とも相談しながら、早急に決めていく必要がある。

- 通信については、基地局に向けて作業車を走らせているものの、道路が啓開するまで辿り着けないことにより、明日以降、停波するエリアが増える見込みと聞いている。この状況と対策については、この後、北陸総合通信局の方から詳しく説明いただきたい。
- 水害の後片付けの災害ボランティアについては、明後日24日（火）から、金沢駅発のボランティアバスの運行開始に向け、本日から募集を開始する。
- 24日は、輪島市の宅田第2仮設住宅での活動を予定している。既に能登半島地震のボランティアとして事前登録いただいている方々から募集することとしており、多くの方にぜひご協力をお願いしたい。

2. 会議最後の発言

- 引き続き、人命救助を最優先としつつ、一刻も早く道路・電気・水道・通信のインフラ確保に向けて、全力をあげていただきたい。
- 特に、通信を確保するために、道路啓開の優先順位をしっかりとつけてほしい。
- 同時に、孤立地域の状況をしっかりと把握するとともに、避難所も含め、物資の支援、生活支援に最大限の対応をお願いしたい。（物資輸送については、輪島へは今晚中に陸路で到着できるよう調整している。門前地区へは明日へリでの物資輸送を予定。珠洲へは到着済み。）

- 会議の冒頭でも申し上げたが、早期の復旧にはボランティアの皆さんの力が不可欠である。本日から募集を開始するので、ぜひ、多くの方に協力をお願いしたい。
- 明日は、朝から、陸路で珠洲市と能登町に訪問し、浸水状況や土砂崩れ等の被災状況を確認するとともに、避難所を訪問することとし、詳細については後ほど資料提供する。
- 次回の第5回災害対策本部員会議は、明日の16時に開始する。